

# 鹿児島県立博物館研究報告

第6号 (昭和62年)

BULLETIN OF THE KAGOSHIMA PREFECTURAL MUSEUM

No. 6 (1987)

---

福田晴夫・二町一成・守山泰司：日本産ナガサキアゲハの有尾型雌について (第3報).....	1
〔短報〕路傍300種学習会会場(上屋久町)のチョウ <福田晴夫>.....	8
畑田健治：黒島の昆虫相(第1報).....	9
永正重俊：ハレー彗星と鹿児島.....	13
福田晴夫・川越良昭・高木 繁・畑田健治：「路傍300種に親しむ運動」の展開と 今後の課題.....	25
〔短報〕路傍300種学習会(大根占町)で見られた昆虫類 <福田晴夫>.....	50
弓削政憲：社会教育領域における科学に関する講座・教室等の実施状況調査報告.....	51

---

Haruo Fukuda, Kazunari Nicho and Taiji Moriyama : Notes on the tailed females of the Great Mormon, <i>Papilio memnon</i> L. (Papilionidae, Lepidoptera) in Japan (III).....	1
Kenji Hatada : The insect fauna of Kuroshima, Mishima Isls., Kagoshima Pref. (I) .....	9
Shigetoshi Nagamasa : Halley's Comet in Kagoshima .....	13
Haruo Fukuda, Yoshiaki Kawagoe, Shigeru Takagi and Kenji Hatada : Developments of "An activity to familiarize yourself with 300 kinds of animals, plants and rocks along the roadsides". .....	25
Seiken Yuge : An inquiry on the present states of the lectures on natural science opened to the public in Kagoshima Prefecture .....	51

---

鹿児島県立博物館

KAGOSHIMA PREFECTURAL MUSEUM

KAGOSHIMA, JAPAN

# はじめに

県立博物館が資料収集や展示、教育普及活動のほかに、調査・研究をする機関であるという認識は、当然なこととはいえ、かなり一般的なものであるようです。このことは、館に寄せられる県民あるいは県外の方々からの問い合わせの内容からも伺い知ることができます。

私たちもこの事実を正面から受けとめ、そのような期待に沿うよう、できる限りの努力を続けております。この研究報告書もそのひとつのあらわれですが、館員による研究の成果は、博物館活動のあらゆる分野にも生かされねばなりません。

この第6号には、自然科学分野の研究のほかに、県内における社会教育の中での科学に関する事業のようすを集録してみました。また、3か年計画で実施した「路傍300種に親しむ運動」は一応終了したので、その総括を試み、諸賢のご批判を仰ぐことにしました。いずれも「科学に親しむ風土づくり」という県政の力点のひとつに対応するものとしてとらえていただければ幸いです。

ささやかな記録集ではありますが、この小冊子は、それぞれの執筆者が、プロの博物館職員としての厳しい立場を自覚してまとめたものです。今後も研究の国際化と一般大衆化の両極をにらみながら、地方博物館学芸員の新しい研究のあり方を模索して行きたいと考えていますので、よろしくご指導下さい。

昭和62年3月

館長 北原昭男

---

---

鹿児島県立博物館研究報告  
第 6 号

昭和62年 3 月31日発行

編集・発行 鹿児島県立博物館

〒892 鹿児島市城山町 1 - 1

TEL (0992) 23-6050

印刷所 (有) 明るい窓社

〒892 鹿児島市上本町14番7号

TEL (0992) 24-5050(代)

---

---

鹿児島博研・*Bull. Kagoshima Mus.*